

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	アスク東大宮保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	梶尾 和加	定員(利用人数)：	90 (97) 名
所在地：	〒 337-0051 埼玉県さいたま市見沼区東大宮2-23-3	TEL	048-661-5218

③評価実施期間

平成27年 8月 1日(契約日)～平成28年 3月31日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○地域交流へ積極的に取り組み、子育て支援施設である園の情報を地域に向けて発信している
当園は災害や不審者対策などの訓練を毎月2回実施しており、自治会に加入し公園の清掃活動に参加するなど、日頃から保護者や地域とのコミュニケーションを深めるよう取り組んでいる。園の社会資源として、多様な訓練等で指導・支援を受ける消防署・警察署などの行政関連機関や、小中学校、高齢者施設、スーパーなどとの地域交流に組み込み、“地域のための子育て拠点”を目指している。地元中学校から受け入れた保育士体験希望の中学生ボランティアでは、保育士の大変さと楽しさを知ったという感想文が寄せられ、市の教育委員会から感謝状をもらうなど、地域と園をつなぐ架け橋になってもらえる交流に取り組んでいる。

○半年毎に保育活動の振り返りを行い、情報を共有している
今年度、一年を半期に分け9月に各クラス毎に上半期の保育の反省や振り返りを行い、今後のより良い保育につながるよう、話し合いを持った。その内容を職員で共有するとともに、運営委員会で発表し、各家庭にも配布した。子どもの成長・発達過程、保育活動の現状への理解を深め、情報の共有を図っている。

○小学校進学に向けて、円滑な接続ができるよう取り組んでいる
日頃から戸外活動を活かして地域の小学校を訪問して交流に努め、子どもたちの小学校への進学に向け、スムーズな就学生活につながるよう取り組んでいる。また、園長は行政の研修に参加して積極的に小学校の先生との連携を図り、就学に向けた保育への対応に活かすよう取り組んでいる。

◇特にコメントを要する点

○園庭での野菜作りの経験を食農活動へと発展させられたい

一昨年度まで、園庭の西側に借りていた畑が利用できなくなったことで、今年度は園庭に枠を使った菜園ランドを設けて野菜栽培を継続している。収穫量は少なくなったが、園庭にあることで子どもたちもより身近に感じ、声かけをしながら水やりをする等、よく観察し親しみが増してきた。まだ試行錯誤の段階であるが、今後は本部の食農担当者と連携・相談し、子どもたちの興味・関心を育くむ食農活動へのさらなる発展につなげられたい。

○単年度に取り組むテーマを定量的・定性的に共有して評価しやすいよう、テーマの内容を5W1H型に表示した計画策定を期待したい

中長期の方針実現に向けた前提課題の解決を目指し、各年度を通して取り組むために策定した年間計画の結果について前期・後期・通年で振り返り、見直しをしながら次年度へつなげ、年次毎に成果を積み上げていく仕組みとなっている。現行の単年度計画は項目と関連する内容が包括的な表示のため、どのように取り組んでどのような結果に終わったのかがわかり難い。職員が頑張っ取り組んだ結果を共有して評価・検討しやすいよう、中長期方針との整合性を持たせて定量的・定性的に評価する5W1H型に整理した計画策定を期待したい。

○行事への人員や記録の活用などへの取り組み体制を考慮されたい

年度始めに職員の係分担、行事担当などを決めており、日々の保育活動や記録等に追われ、行事担当職員の負担が大きく、職員間の繁忙度の格差から人間関係に影響しがちとなっている。行事を進める際には行事担当者が中心となり、職員全体で話し合いを重ねて実施することで全員が準備の進行状況などを把握し、協力し合って実施することを期待したい。また、過去の行事などの実績や記録を有効活用をするとともに、今後への実績の蓄積と利活用もさらに進められたい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今年度は中学生の職場体験や小学校研修など取り入れ、地域交流に力を入れてきました。また、畑に変わり、菜園ランドでの栽培が始まり、試行錯誤しながら、取り組みました。来年度もご意見をもとにより良い保育を目指して参りたいと思います。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり